



2016-2017 年度

地区補助金事業報告

プロジェクト名: 広島市北部こども療育センターへ「ローラー滑り台」1台を寄贈する

プロジェクトの概要について

広島市内には広島市こども療育センター(東区光町)・広島市北部こども療育センター(安佐北区可部)・広島市西部こども療育センター(佐伯区海老山)の三拠点にて、こどもの心身の発達とこころの課題についての相談や医学的診断、判定を行うことにより、それぞれの課題の早期発見、早期療育と必要な訓練を実施しているということ。また、それらセンターの運営にあたり新規に導入、更新をしたい機器や設備が多くあり、センターの設置主体である広島市に要望を出しているが、なかなか予算措置が講じられず多くの要望が先送りされていることを知りました。

その中で広島市北部こども療育センターの運動機能障害児通園施設わかば園には児童が使える遊具がなく、以前より導入を考えていたが、予算の関係で後回しになっており、いつ導入できるかわからない状況であった。

脳性麻痺などによる運動機能障害を有する子ども達が集団生活の中でさまざまな活動を体験し、また遊具などの利用により運動機能の促進とともに、基本的な生活習慣や社会性が身につくことが期待されるということで、今回「ローラー滑り台」を寄贈することとしました。



実施報告

2016年10月26日、広島北RCは身体障害者や知的障害のある未就学児が通う広島市安佐北区の「広島市北部こども療養センター」に滑る部分の傾斜が緩やかでローラーがついている、身体障害のある子どもでも遊びやすい、「かるがも親子のローラー滑り台」を1基を寄贈した。

当日は広島市職員他、療育科長、センター職員、保護者、児童に集まって頂いて、現地にて贈呈式を実施した。また、2016年11月10日の例会に当センターの療育科長 桑田和子氏を招き、施設の活動内容と意義に関して講演をして頂き、センターの理念、機能、役割、活動への想いについて理解を深めるための勉強会を実施した。

滑り台 障害ある子ども安心
安佐北区 広島北RCが寄贈

広島市の広島北ロータリークラブ(RC)は26日、身体障害者や知的障害のある未就学児が通う安佐北区の市北部こども療育センターに滑る部分の傾斜が緩やかでローラーが付いた「ローラー滑り台」1基、高さ1・1メートル、全長2・4メートルの「別」の遊具を寄贈した。この日、センターの職員らとともに、施設に設置された遊具の前で、桑田和子療育科長(右端)と語り合う会員らと語り合った。

桑田和子療育科長は「別の遊具が高くて、障害のある子どもが遊ぶのが難しかった。とても助かる」と喜んでいました。(中川雅晴)

寄贈した滑り台の前に桑田療育科長(右端)と語り合う会員

いるため、身体障害のある子どもが遊びやすい。この日、センターでの贈呈式で子どもたちに披露し、同クラブの中山昌美会長(58)が「楽しんで遊んでください」と呼び掛けた。滑り台は園庭に置

ご寄付は
平安祭典
2016.11.10